



2021年12月27日

## 「環境・社会に配慮した投融資方針」の制定及び

### 「CO2 排出量削減目標」の設定について

筑波銀行（頭取：生田 雅彦）は、2021年12月27日（月）に「環境・社会に配慮した投融資方針」の制定、及び「CO2 排出量削減目標」の設定を致しましたのでお知らせします。

#### 記

##### 1. 目的・背景

当行は、2019年4月に「筑波銀行SDGs宣言」を策定・宣言し、SDGs推進プロジェクト『あゆみ』において森林保全活動や再生可能エネルギー関連融資の推進など、環境関連に積極的に取り組んでまいりました。

また、2021年8月30日に気候変動が地域のお客さまや当行に与えるリスクを想定しながら、脱炭素化に向けた対応を積極的に進めるためにTCFD（※注）提言へ賛同表明しております。

こうした中、環境や社会課題解決に向けたお客さまの取り組みを積極的に支援するとともに、環境や社会に大きな影響を与える可能性がある事業者への投融資に関する取り組み方針を定め、取り組み方針に基づいた投融資を実施してまいります。[別紙1](#)

お客さまへの取り組みだけでなく、自行における「温室効果ガス削減」への取り組み強化のため、「CO2 排出量削減目標」を設定いたしました。[別紙2](#)

当行はコーポレートスローガン『地域のために、未来のために』に基づき、地域社会の持続的な発展に引き続き貢献してまいります。

※注 TCFD (Task Force on Climate-related Financial Disclosures )

・2015年、G20の財務大臣、中央銀行総裁からの要請を受け、金融安定理事会（FSB）が設立した民間主導による気候関連財務情報の開示に関するタスクフォース

## 2. 【環境・社会に配慮した投融資方針】の制定

## 「環境・社会に配慮した投融資方針」

## 1. 基本的考え方

筑波銀行は、国連にて採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に向け、地域経済を支える金融機関としての自覚を持ち、地元茨城県を中心に積極的なリスクテイクを行うとともに、地域の社会・環境課題の解決と持続的な発展に貢献してまいります。

茨城県は筑波山および八溝山周辺の森林資源、霞ヶ浦をはじめとする湖沼や河川、鹿島灘を含む南北約190kmにおよぶ海岸線など豊かな自然環境を保有しております。

この大切な自然環境を次世代に引き継ぎするためにも、筑波銀行では、ESG（環境・社会・ガバナンス）に配慮し、脱炭素社会の実現に向けた再生可能エネルギー事業等の気候変動リスクを低減する取り組みや森林資源の保護等の生物多様性の保全に向けた取り組み等、持続可能な環境および社会の実現に資する事業を積極的に支援してまいります。

## 2. 環境・社会課題の解決に向けた取り組み

環境・社会に対する重大な負の影響を与える可能性が高い、以下に該当する事業については、原則、投融資を行いません。

（1）非人道的な兵器の開発・製造を行う事業者

（2）人身売買等の人権侵害や強制労働に関与する事業者

なお、パーム油開発事業者については、国際認証等の取得状況や先住民現地社会とのトラブル等を十分に考慮していきます。

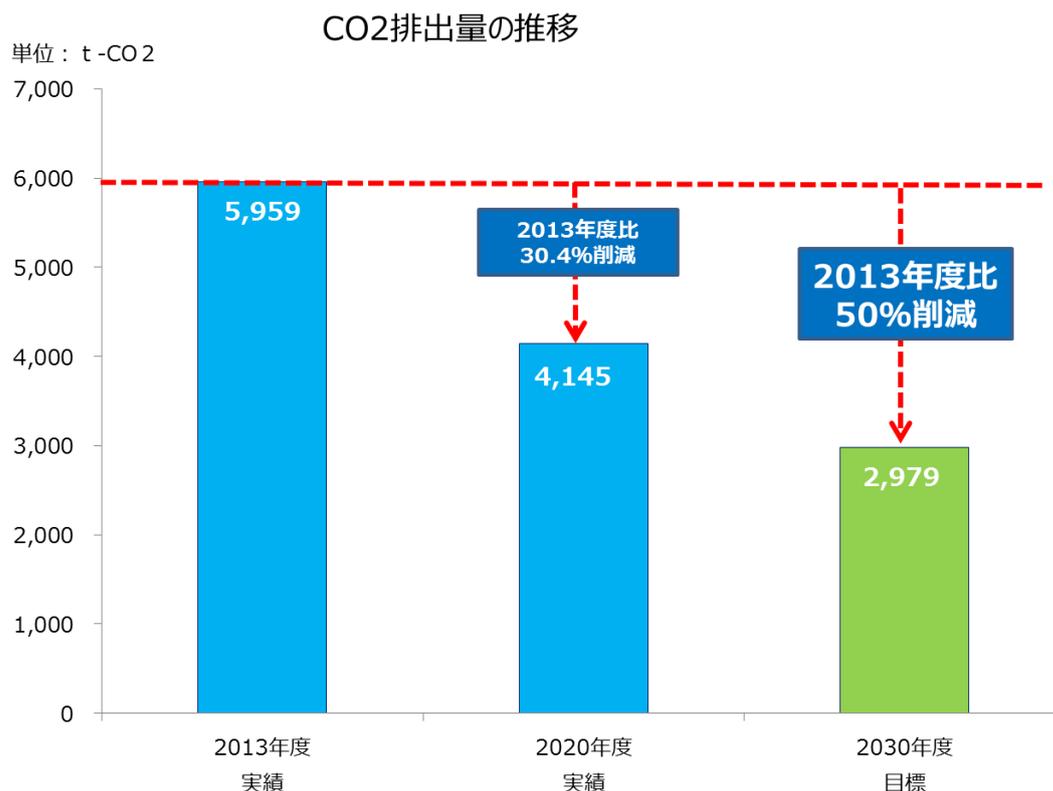
（3）石炭火力発電所の新規建設事業

但し、例外的な取り組みを検討する場合には、国のエネルギー政策に沿っており、かつ環境負荷を考慮した厳格な基準を満たす事業については、個別案件毎の特性等を勘案のうえ慎重に対応いたします。なお、炭素回収等の環境に配慮した先進技術については、温室効果ガス排出量の削減へ向けた取り組みとして支援してまいります。

## 3. 【CO2 排出量削減目標】 の設定

2013年度のScope1・2のCO2排出量を基準として、  
2030年度のCO2排出量削減目標を▲50%といたします。

当行は、「温室効果ガス削減」への取り組み強化のため、「CO2 排出量削減目標」を2013年度比50%削減といたしました。2020年度のCO2 排出量は2013年度比30.4%削減しています。



【単位：t-CO2】

	2013年度実績	2020年度実績	2030年度目標
CO2排出量	5,959	4,145	2,979
(内スコープ1)	1,608	823	
(内スコープ2)	4,351	3,322	
CO2排出量削減率		30.4%	50.0%

※当行におけるCO2 排出量については以下の指標を計測していきます

スコープ1（直接排出）…ガソリン・重油・灯油・都市ガス・LPG等

スコープ2（間接的排出）…電気

報道機関のお問合せ先  
筑波銀行 総合企画部広報室  
TEL 029-859-8111